

中国の結婚の風習

国際文化学部国際文化学科3年

1. はじめに

最後の学期に入り、1か月が経過した。本レポートでは閲読の教科書を通して興味を抱いた中国の結婚について、3つの風習を取り上げて論じる。

2. 鬧房について

教科書で取り上げられていた鬧房について、本文と日本語訳をしたうえで説明する。鬧房とは、「新婚の夜に友人・親類が新婚夫婦の部屋に押しかけ冗談を言ったりからかったりする¹⁾」ことだ。鬧洞房ともいわれる。以下、教科書にある本文と日本語訳である。

鬧房

鬧房是流行全国的結婚習俗。民間認為，新婚“不鬧不發，越鬧越發”，鬧房可以增加新婚的喜慶氣氛，又為新郎新孃驅邪避凶，併使他們婚後吉祥如意、興旺發達。

在江浙一帶，新婚夫婦在睡覺前有爭壓衣物搶上風的習俗。如江浙新郎會在為新孃摘下鳳冠的時候，取下自己頭上的禮帽壓在鳳冠上面，俗稱“禮帽壓鳳冠”，夫君管新孃“，表示新孃結婚之後聽丈夫的。在揚州水鄉，則流行“磕鞋”的風俗，兩人脫鞋上床，誰後脫鞋便可把自己的鞋放在上面，表示日後為上，一般女子都會讓丈夫把鞋放在上面，俗稱“男鞋為天，女鞋為地”；也有好強的女子就是不脫鞋，新郎急着想上床，只好自己先脫鞋，讓新孃的鞋壓到上邊，情願以後做“妻管嚴”。

有的地方還有鬧洞房偷衣服的風俗。江西南昌就是新孃和新郎上床安睡時，還有鬧房的親友躲在新床下面，等到新郎新孃睡着了，偷了新人的衣服跑出去，然後敲打銅鑼，把周圍的人都驚醒。這時新郎新孃地嚇醒了，可是卻發現自己的衣服都不見了。

(施愛東)²⁾

【日本語訳】

Can you celebrate me? 新婚初夜のどんちゃん騒ぎ。

鬧房は全国各地で見ることのできる結婚の風習である。民間では、新婚は「騒がなければ

¹⁾ 引用文献 weblio 中国語辞典

<https://cjjc.weblio.jp/content/闹房>

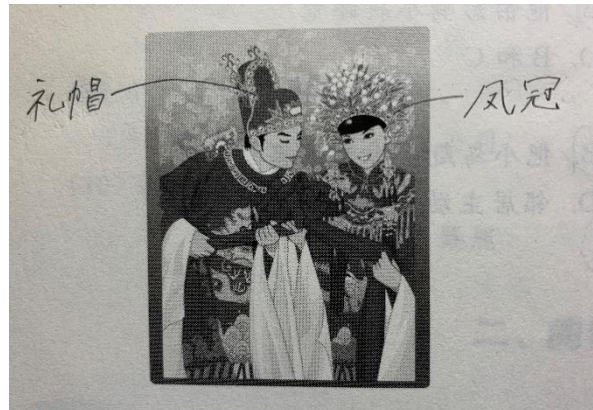
最終閲覧日：2019/10/06

²⁾ 引用文献 周小兵 徐霄鷹 (2008) 『中級漢語閲読教程 I (第二版)』

北京大学出版社 pp.19-20

盛り上がり、騒げば騒ぐほど盛り上がる」と考え、闇房は新婚のうきうきしたムードを高めることができ、また新郎新婦の邪気や不幸を追い払い、さらに彼らの結婚後、生活は幸せで意のままになり、盛んに発展させることができると考えている。

江蘇省と浙江省一帯では、新婚夫婦が寝る前に衣服を奪い、どちらが優勢かを争う風習がある。例えば浙江省の新郎が新婦の冠を外すとき、



自分の頭の上にある帽子を冠の上に置く。通称は「帽子は冠を抑えて、夫は新婦を管理する」³と言われ、新婦が結婚後、夫の言うことを聞くことを示す。揚州水郷では、「磕鞋」という風習が流行している。2人が靴を脱いでベッドに入り、どちらかあとで靴を脱いだ者が、自分の靴を相手の靴の上に置くことができる。将来上になることを示す。一般女性は夫に上側に靴を置かせる。これを俗に「男の靴を天とし、女の靴を地とする」という。一方で、ごつつ強い女性の場合はたとえ自分から靴を脱がなくとも、新郎が急いでベッドに入りたいと思い、仕方なしに新郎が自分から先に靴を脱ぎ、新婦の靴を自分の靴の上に押しつけさせ、新郎が自分から進んで、のちに「恐妻家」となることもある。

ある地方では、闇房で、新婚夫婦の部屋で衣服を盗む風習がある。江西南昌では、新婦と新郎がベッドに入り安眠しているときに、その新しいベッドの下で親友が横たわって新郎新婦が寝付くのを待ち、眠ってから彼らの衣服を盗み、走って出ていき、銅鑼をたたいて周囲の人をびっくりさせ目を覚まさせるという風習だ。この時、新郎新婦も驚いて目を覚ますが、自分たちの衣服はすべてなくなっていることに気づく。

以上の内容から、地域によって様々な風習があることがわかる。私たち日本人からすれば、衝撃的な風習が多いように感じる。特に江西南昌で行われていることに関しては、一般的な泥棒だがそれもまた風習として認められており、とてもユニークな。

3. 婚鬧について

中国には闇房の他に婚鬧と呼ばれるものが存在する。闇房との違いは、婚鬧は新婚の夜に何かをするのではなく、結婚式の最中に新郎新婦をからかうという点だ。婚鬧もまた、盛り上げるために行われる。

しかし最近では、この婚鬧が物議を醸している。2018年2月には、「新郎の父が酒に酔

³ 周小兵 徐霄鷹 (2008)『中級漢語閲読教程 I (第二版)』
北京大学出版社 p.20 より掲載

って結婚式場で新婦に無理やりキス」という動画が拡散された。新郎の父は結婚式の行われた塩城市の風習として新婦にキスするような動作をしたが、ふりをしただけだったというが、この動画はインターネット上で議論を引き起こした。また貴州省では、婚鬧が原因で新郎が障害が残る大けがを負ったとして、友人3人が損害賠償を請求された。この事件は、2016年12月、新郎は新婦を迎えに行く途中、友人3人に手足をテープで縛られ、バランスを失った新郎は地面に倒れこみ、顔面を強打して骨折した、というものである。後遺症は障害認定され、新郎は友人3人に損害賠償を請求し、最終的に10万7000元（約180万4958円）の慰謝料が認定された⁴。

このように、婚鬧は結婚式を盛り上げようとするがために、めでたい日を最悪な日にしてしまうこともあるようだ。婚鬧に対して今すぐやめるべきだという専門家もいるようだが、これもまた1つの中国の風習であり、文化である。しかし風習や文化だからと言って限度を超えた行動は避けるべきだと考える。

4. 接親について

更に中国には、結婚の風習の1つとして接親という風習がある。接親とは、婚礼時に新郎側が新婦を迎えに家に行くこと⁵だ。しかし、簡単に迎えに行くことはできず、家についてから新婦の友人が迎えに来た新郎の邪魔をして、新郎の熱意を見ろという風習だ。例えば、「私たちを説得したければこの盃を飲み干しなさい」や「新婦のことを愛しているならば愛の歌を熱唱しなさい」といったような新郎の新婦に対する愛を確かめるような場になっている。友人たちの難問に答え、最終的に新婦の待っている場所にいき、告白をする。その後、式場へ出向いて披露宴の始まりとなる⁶。

迎えに行く際の車も重要で、何台もの高級車を用意して迎えに行く⁷。メンツを気にする点においては、さすが中国人、と感じる。

⁴ 参考文献 AFPBBNEWS 義父が新婦にキス？中国で結婚式盛り上げる風習がエスカレート、批判続出（2018）

<https://www.afpbb.com/articles/-/3167150>

最終閲覧日：2019/10/07

⁵ 中日辞典第2版（1992, 2003）小学館

⁶ 参考文献 今すぐ！中国語 中国婚礼時の風習。新郎が新婦を迎えに自宅へ。婚礼時の出迎え【接親】（2015）

<https://www.imasugu-chinese.net/chinese/post8731>

最終閲覧日：2019/10/07

⁷ 参考文献 とんでも 日本とは違う中国人の結婚観や結婚式（2017）

<http://tondemo.net/archives/768>

最終閲覧日：2019/10/07

5. さいごに

これまで3つの風習を挙げて論じ、日本とは全く異なる様々な風習があることを知った。調べていくうえで、興味を惹かれるものも多く、もっと知りたいと思った。もし機会があれば、中国人の知人の結婚式に参加したい。また中国人に結婚式やその風習について聞こうと思う。